

2022年5月21日

機巢会会員各位

機巢会会長  
飯沼義徳

2022年度定期総会議案書に対するご意見への回答

Web 定期総会の運営にご協力をいただき感謝申し上げます。昨年度の反省から手順などを改善いたしました。が、まだ不十分であることを認識し今後も改善の継続をしてまいります。議案書の中で前年度繰越金を記載していないのはWeb上で開示することによって本会及び関係者に対し善からぬことが起きることを危惧しての事でございますことをご理解いただければ幸甚です。議案について賛成いただきましたこと及び率直なご指摘、温かい激励に心より感謝申し上げます。いただきました貴重なご意見、ご要望に対し以下の通り回答申し上げます。尚、会員数に対して案内メール配信数（メルマガ登録者）、投票数が少ないことは役員としての力不足であり誠に申し訳ございません。今後の課題とさせていただきます。今後とも新体制での運営にご支援をお願い申し上げます。

定期総会案内メール配信数（メルマガ登録者）：324

投票数：30

第1号議案 2021年度活動報告

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】機巢会活動」の「②役員会」記載事項「メール役員会」の開催日時を訂正してください。誤：2022年4月18日～31日 ⇒ 正：2022年4月18日～30日

【回答】ご指摘ありがとうございます。訂正いたします。

第2号議案 2021年度決算報告及び監査報告

承認 28, 否認 2

- (1) 【ご意見】収入の部の前年度からの繰越金額が分かりません。

【回答】WEB上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

- (2) 【ご意見】末尾「②メルマガ編集補助金（2021年度）」を40,000円支払い予定としていますが、2021年度は3回の発行なので、30,000円に訂正すべきで

す。2016年の発行開始時から編集委員の人数に関係なく「1回発行につき10,000円」の取り決めです。

【回答】2022年度に受領予定の2021年度メルマガ編集補助金は全額「受領⇒返金」として処理いたします（計上無し）。

メルマガ編集補助金は年度内に収入、支出が完結できるようにするため、2022年度から年度初めに仮払い（¥40,000）し、年度末に残金を会計に返金いたします。（不足の場合は請求する）

用途は日当、交通費、慰労会費等。（★役員会 新規取決め）

- (3) 【ご意見】支出項目「事務費」の備考欄「②③④⑤」がどの支出項目と紐付くかを明記してください。

【回答】②メルマガシステム料 ③Webサイトランニング費用 ④Webサイトリニューアル費用 ⑤河村先生叙勲祝い ⇒2021年度決算報告に明記します。

- (4) 【ご意見】支出項目「公開講座2回目(10/31)補助」および「オープンキャンパス(8/6)補助」が第1号議案の機楽会活動報告に示した開催日と合っていません。その理由を教えてください。

【回答】公開講座2回目開催日は10月10日が延期となり10月31日でしたので活動報告を訂正します。

オープンキャンパスの補助費用は開催日の前日（8月6日）に準備しました。

### 第3号議案 2022年度活動計画

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】2022年度は新型コロナウイルスに翻弄されることなく計画通り進行できることを期待します。

【回答】環境の変化、行政の指示、指導等に従って、弾力的に対応いたします。

### 第4号議案 2022年度予算

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】前年度からの繰越金額が分かりません。

【回答】WEB上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

- (2) 【ご意見】否認は致しませんが、仮に40周年記念行事を行う場合、単年度では大幅赤字が見込まれますが、この補填方法の説明が必要と思います。積立金からの補填をされるのなら積立金が幾らあるのか明示していただければと思います。

【回答】前年度繰越金から補填いたします。繰越金をWEB上に公開することにより善からぬことが起きることを危惧して明記しませんでした。個人的にご報告いたします。

#### 第5号議案 2022年度役員

承認 30, 否認 0

- (1) 【ご意見】徐々に世代交代が進んでいるように感じました。期待しています。

【回答】ありがとうございます。引続きご支援をお願いいたします。

#### その他のご意見, ご要望

- (1) 【ご意見】議決にあたっては、出席数、賛成数を明記した上で、規約と照合した結果を示してください。

【回答】本文中に明記いたしました。

- (2) 【ご意見】議案に対する意見を受けた場合は、自らが設定した期限内にホームページ上に回答すると共に、意見を提出した者へ個別にメール等で知らせる配慮を希望します。私の記憶では、前年度は回答期限が守られなかったにもかかわらず、配慮も無かった。

【回答】承知しました。

- (3) 【ご意見】第2項で、卒業年度には凡例を示す方が良いと思う。私は1973年3月卒業で、卒業年度は1972年度だと解釈していますが、同期生の中にはうっかり1973年度卒だと回答する者がいるような気がします。西暦の入力の例が示されていますが、もしかして、下2桁ではなく4桁記入せよという意味でしょうか？そんな配慮が必要と思われたなら、卒業年度についても気にして欲しかった。

【回答】次回、改善いたします。

(案) 卒業〇〇年3月、入学△△年4月

- (4) 【ご意見】 私がメルマガ編集委員を担当しておりました 2019～20 年度に、会計担当からメルマガ発行に伴う補助金として 80,000 円 (40,000 円×2 年分(8 回発行))を編集委員長が受けとられました。いままで補助金は編集委員の慰労会に使用しておりましたが、コロナウィルスまん延の影響で会の開催は出来ませんでした。その後、編集委員の入れ替えがあり、2019～20 年度のメンバーによる慰労会が開催できる状況にありません。つまり「80,000 円が未使用」のままです。無論、2021 年度以降のメンバーの慰労会に使用できるものではありません。

そこで提案ですが、使用出来ないままの補助金を機集会会計に返還する事を提案します。この件は 2020 年度に私が退任する時に編集委員の皆様には返還すべきと提案しましたが、時間がなく議論はうやむやになっています。

毎年、赤字の決算が続いている状態で使用出来ないままのお金があるならば有効活用すべきと思います。

メルマガ編集委員会および役員会での議論、そして回答をお願いします。

【回答】メルマガ編集委員を含む役員にて検討しました。メルマガ編集補助金の残金(¥79,039)は会計に返金といたします。2022 年度予算の収入に「メルマガ編集補助金の残金返還」として計上いたします。

残金額詳細：

¥80,000(2021 年 3 月 15 日受領)+¥8,759(それ以前の残金)-¥9,720(2021 年度慰労会)=¥79,039 (★★役員会承認事項)

- (5) 【ご意見】 役員の皆様のご尽力に感謝いたします。

【回答】ありがとうございます。引き続きご支援をお願いいたします。

- (6) 【ご意見】 オンライン活用で効率化が進んでいると感心しています。

【回答】ありがとうございます。引き続きご支援をお願いいたします。

- (7) 【ご意見】 いつも運営等おつかれさまです。OBOG として、できることは実行させていただきます。

【回答】ありがとうございます。引き続きご支援をお願いいたします。

- (8) 【ご意見】 会長をはじめとして役員の皆様には、お世話になります。今後とも宜しくお願い致します。

【回答】ありがとうございます。引き続きご支援をお願いいたします。

(9) 【ご意見】 役員皆様、お疲れ様です。HP の改訂など従来以上に開かれた機巢会になった感があります。皆様ご努力に感謝します。新役員の方も含め、これからもよろしく申し上げます。

【回答】 ありがとうございます。引き続きご支援をお願いいたします。

機巢会会則第 11 条 3 項に従い承認可決といたします。ありがとうございました。

(参考)

第 11 条 3 項

会議の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。ただし、会則の変更に関しては総会において出席会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。